

参画組織
限定募集

関西発！ 実践ベース型リサーチプロジェクト ～協働で紡ぐ「人材マネジメント」の未来像～

開催および設置の趣旨

2026年創立70年を迎えた関西生産性本部では、このたび、人事・労使関係の特定テーマを対象とした課題解決型プロジェクトを立ち上げ、閉じたメンバーシップにて共同調査・実践試行を行うこととなりました。

そこで、人事・労使関係の実務と研究をつなぐ課題解決型プロジェクトに参加いただける企業人事、組合リーダーを募集します。本プロジェクトは閉じたメンバーシップのもと、実務課題の共有・共同分析・現場試行を通じて実践的な解決策と学術的知見を創出し、成果を広く発信します。

守秘義務と継続的・定期的な参加のコミットメントを前提に、インタビュー調査・現場データの提供やワークショップ参加が可能な方を歓迎します。

開催期間

2026年6月～2027年1月 ※ 開催スケジュールは裏面(次頁)をご覧ください。

開催方法

当本部会議室およびオンライン(各回で異なる)

対象

企業の人事担当者、労働組合リーダー(定員12組織)

研究テーマ

高齢者雇用に関わる制度と運用の実態

参加費

66,000円(消費税を含む)

実践ベース型リサーチとは？

実践ベース型リサーチとは、事例研究に、アクションリサーチという研究手法を追加したものになります。企業の現場で抱える課題を、企業労使の実践者と学識の研究者が協力して、計画、行動、観察、振り返りというサイクルを循環的に回すことで解決・改善を目指す「実践的な研究手法」です。現場の状況をよくすることと、知識や理論を深めることを同時に行う点に特徴があります。

コーディネータ；梅崎修氏

法政大学キャリアデザイン学部教授

1970年、東京生まれ。大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了(経済学博士)。政策研究大学院大学・研究員、法政大学キャリアデザイン学部・専任講師、准教授を経て2014年に教授。現在は日本キャリアデザイン学会・理事、慶應義塾大学・産業研究所共同研究員を務める。専門は労働経済学、人的資源管理、労働史。

コーディネータ；西村純氏

中央大学商学部准教授

同志社大学社会学研究科産業関係学専攻博士課程後期課程修了(博士：産業関係学)。(独)労働政策研究・研修機構研究員などを経て現職。専門は労使関係論、人的資源管理論。主な研究テーマは、日本とスウェーデンの労使関係・賃金制度、雇用制度の国際比較など。



スケジュール(全7日間)

2026年6月15日(月) アクションリサーチの紹介(研究)
14時~19時 各社自己紹介

対面開催
懇親会有り

2026年7月17日(金) 10時~12時 高齢者雇用研究紹介(研究)
8月19日(水) 10時~12時 各社取り組み事例紹介

両日オンライン開催

2026年9月17日(木) 14時~19時 グループワーク①(テーマに分かれて)

対面開催・懇親会有り

10月19日(月) 14時~17時 グループワーク②(提言・発信に向けて)

対面開催

9・10月にインタビュアー(学識者)による各社へのインタビュー調査を同時並行で実施

2026年11月19日(木) 14時~17時 調査中間報告

オンライン開催

2027年 1月26日(火)14時~19時 調査最終報告

対面開催・懇親会有り

当本部「賛助会員集会KPCフォーラム」において、調査報告と提言発表を行うとともに、記者発表を行う。

インタビュアー インタビュー調査へ参画いただく学識者

篠原 健一 氏 京都産業大学経営学部教授
岡嶋 裕子 氏 京都先端科学大学教授
松原 光代 氏 近畿大学経営学部准教授

2026年9・10月に実施する「参加各社へのインタビュー調査」でインタビュアーとして参画いただきます

※ ご遠慮なくお問い合わせください。

■お問い合わせ先

■ご参加申込先

(ご参加申込書をお送りします)

公益財団法人関西生産性本部 組織部 担当:井上・田中
〒530-6691大阪市北区中之島6-2-27中之島センタービル28階
TEL:06-6444-6461 FAX:06-6444-6450
E-Mail: inoue@kpcnet.or.jp(井上)